23日は忘れずに投票を

■…投票時間は、午前七時から午後六時までです。

■…投票所へは入場券をお持ちください。もし入場券が届かなかったり、入場券をなくした場合でも、選挙人名簿に登録されている人なら投票できます。投票所で係員に申出てください。

■…投票日に仕事などの都合で投票所へ行けない人は、四月二十二日までの間に不在者投票をして棄権しないようにしましょう。不在者投票は、午前八時三〇分から午後五時まで市役所（新館二階の選挙事務室）でできます。印鑑と入場券をお持ちください。

政見放送・経歴放送

候補者の政見放送、経歴放送が次の日程で放送されます。よく見、よく聞き、よく考えて、責任ある一票を投じましょう。

政見放送

□4月17日午前7時40分から…NHKラジオ　□4月17日午後4時から…BSNテレビ　□4月19日午前8時30分から…NSTテレビ　□4月20日午後7時30分から…NHKテレビ

経歴放送

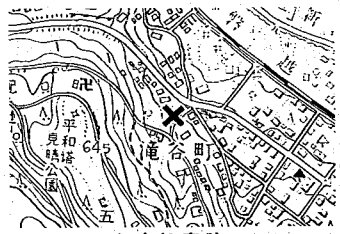
□4月18日午前11時55分からと4月19日午後6時50分から…NHKラジオ

遺跡地に標柱を建立

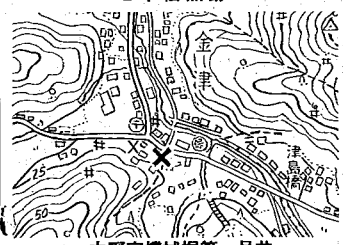
たずねてみてください

市教育委員会では、これまでにもいくつかの遺跡地に標柱を建てて市民のみなさんにご紹介してきましたが、このほどさらに二か所の遺跡地に標柱を建てました。

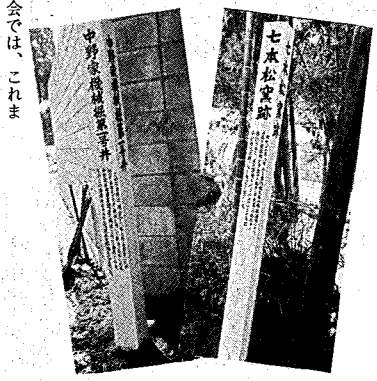
これらは、いずれも先人の活動のあとを物語る貴重な遺跡です。機会がありましたら現地をたずねられ、往時をしのぶ手がかりにしていただければ幸いです。



七本松窯跡



中野家機械掘第一号井



七本松窯跡

七本松窯跡は、滝谷町の山田友一さんの宅地内にあります。現場は、かなり急斜面の竹林の一部になっています。

この窯跡は、昭和二十九年六月、北方文化博物館主催の発掘調査で、その全容が明らかになりました。

それによると、この場所で四基の窯跡群が確認され、同時におびただしい須恵器の土器片が発見されました。窯の築造年代はおよそ一千年前、平安時代後期の頃と推定されています。

この時代に窯群が形成されるには製品の運搬路、主原料の粘土の採取地、燃料の確保などいくつかの条件が必要とされていますが、この窯跡は、これらの条件を満たして盛んに生産されたものと思われます。そして造り出された製品は、能代川を舟で各地に運ばれたものでしょうか。また、この付近に土器製品を使用した集落や神社・寺院などがあったのかもしれません。

いずれにしてもこの遺跡は、はるかなむかしの人びとの生活の鼓動をつたえる大切なものです。

中野家機械掘第一号井

この石油井は、金津中野家の石油事業躍進の端緒となった記念的な油井です。場所は、県道白根―五泉線に沿った中野家石油鉱場内にあります。最近、災害防止のため、二メートル余のブロック塀がめぐらされて見えにくくなったのが残念です。

戦前、日本の石油王といわれた中野貫一氏は、超人的な忍耐力と卓抜した先見性によって事業を推進しました。明治三十七年二月、従来の手掘・上総掘などの旧式掘さく方法を廃止して、新たに米国式さく井機械を購入してここに第一号井を掘さくし、同年六月遂に出油に成功しました。

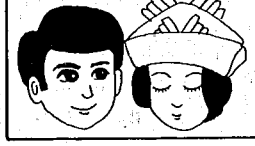
以来この方法を用いていずれも成功し、事業は飛躍的な発展をとげました。

ちなみにこの第一号井は、七十五年後の今日もなお採油をつづけています。

（新津市立記念図書館）

お買物、ご用命は市内で

新津市代表二大銘菓　松坂踊り・新津松坂　新津菓子協同組合



人生の門出，永遠の愛を誓う二人のために……

御婚礼の際は、お近づきの菓子店にお早めにご参来下さい。如何様にも御相談、御説明申し上げます。

御婚礼和洋菓子一式　福扇堂　本町4 ☎(2)0869　大脇菓子店　田家1 ☎(2)1046

協賛／新森・春雨・松本屋・金波・一楽・桝形屋

農作業メモ

晩霜にご注意

毎年四月下旬から五月上旬にかけて、晩霜による農作物への被害が心配されます。次のような対策をたてて、農作物を晩霜から守りましょう。

水稲

○…育苗ハウス内の苗は、二重被覆などで保温につとめましょう。

○…ビニールを取払った育苗ハウス内の苗には覆いをしてください。

○…植付後の本田は深水管理にしましょう。

野菜（予防対策）

○…トンネル栽培では夕方早めにトンネルをしめ、保温資材をかけましょう。

○…霜のおそれが続くときは、窒素の追肥や中耕は控えてください。

○…軟弱徒長は低温障害を受けやすいので、ハウスやトンネル栽培などでは温度管理や灌水などに注意しましょう。

○…活着や発根の悪い株は被害を受けやすいので、苗の馴化を行って活着を早めてください。

○…霜が予想されるときは、ハウスではワラなどを燃やしたり、イチゴのようなものにはワラで被覆して被害の軽減を図りましょう。

野菜（被害を受けたら…）

○…日の出前から株に散水しましょう。これはなるべく早く行った方が被害が軽くてすみます。

○…強風や、日中、高温にならない様注意してください。

○…葉面散布施肥を行いましょう（尿素では〇・五％液を二～三回散布します）。

○…キュウリなどでは、主枝の被害程度をみて整枝法を変えましょう。

果樹

○…重油、古タイヤ、モミガラなどを燃やして気温の上昇と空気の流動に心がけましょう。

○…スプリンクラーによる灌水氷結法を行う場合は、次のことに注意してください。

▼散水開始は〇度から始め、翌朝結氷がとけだすまで連続散水します。

▼途中散水を中断すると、かえって被害が大きくなります。

○…敷ワラやモミガラを敷いておくと被害を受けやすくなります。五月十日以降に敷くようにしましょう。また霜が予想される前日の夕方に、地面に灌水して湿らせておくことも大切です。

新津の昔ばなし (12)

クシと札と手ぬぐい

水沢謙一

とんと昔があったげろ。

ある日、お寺の小僧が、山へお花とりにいったって。いいお花をさがしさがし、一枝おってはぷっかつね、二枝おってはぷっかつね、三枝めに日がくれた。チラチラ、あかりの見えた山ンバのうちに、とめてもろた。

夜なかに、山ンバは小僧をなぜまわして、

「小僧は、うまげだな。」

という。小僧は、山ンバに食われてはならんと、せんちんへいぎたいといった。腰に縄をつけらっていった。山ンバは、グツグツと、縄ひっぱって、

「小僧、小僧、いいか。」

という。小僧は、

「まだ、まあだ、もうひときれだ。」

すると、山ンバが、しんきがきて、

「いつまでも、長くそして。」

というて、グッツとひっぱったら、柱が、ミリミリと折れた。山ンバは、

「さあ、小僧、逃げたな。」

と、追いかけてきた。

山ンバにつづかれそうになって、小僧は、ふところから、クシと札と手ぬぐいを出して、じゅんに投げて、

「シバ山、出れ。」

「大火事、出れ。」

「大川、出れ。」

というて、山と火と川を出して、お寺へ、やっと逃げてきた。山ンバはお寺まで追いかけてきて、そこらをさがしまわった。井戸の中をのぞいて、自分の影を見て、

「小僧、ここにいたか。」

ととび込んで死んだ。いちごブランとさがった。

〈解説〉　魔法をかけて逃げる話（マジック・フライト）で、前に掲げた「クシと手ぬぐいと鏡」、「三枚の札」などと、同じ系統の昔話です。本話は、「クシと手ぬぐいと鏡」に似ていて、鏡が札となって、「クシと手ぬぐいと札」の話となっていて珍しい。昭和四十二年に本町で採集した。原話は長いので、略記した。昭和四十二年というと、もう十年以前になる。このころから、新津の昔話採集がはじまっていて、もうまとめる時がきている。

（日本口承文芸学会員）

お買物、ご用命は市内で

おぼえられますか？

ダイヤルは記憶に頼らず

メモを見ながら……1回でOKに

心をつなぐ　新津電報電話局